

### 第3種 青苗漁港 (北海道奥尻町)

あおなえ

## 青苗地区特定漁港漁場整備事業計画

奥尻圏域  
生産拠点



奥尻地域マリンビジョン策定(推進地域)

#### 現状と課題

- ・漁獲物の陸揚げや選別作業は野天で行われているため、日照や降雨などによる鮮度低下、埃や鳥糞などの異物混入などが懸念されている。
- ・荒天時には、越波等による港内擾乱が発生し、漁船が安全に係留できない状況にあるほか、漁船被害も発生している。
- ・津波来襲時には、瓦礫等の漂流物により泊地が埋没し、漁業の早期再開に支障を来すおそれがある。

#### 港勢 (H29港勢調査)

登録漁船:100隻  
利用漁船:142隻  
(内、外来漁船:42隻)  
属地陸揚量:226トン  
属地陸揚金額:1.9億円  
主な魚種:スルメイカ、ウニ類  
組合員数:58人

#### ◎青苗漁港の役割

- ・スルメイカ漁場やホッケ漁場への前進基地として、道内外のイカ釣り漁業、ホッケ底建網漁業の生産拠点

#### 主要対策



#### 主な整備方針

- ・地域の衛生管理の取組に対応し、漁獲物の鮮度保持や異物混入の防止を図るため、屋根付き岸壁や防塵・防砂柵等の整備を行う。
- ・越波を防止し、港内静穏度の確保により、漁船係留の安全確保や被害軽減を図るため、護岸や防波堤の嵩上げ改良を行う。
- ・津波来襲時の瓦礫等による泊地埋没の抑制、耐震強化岸壁へのアクセス確保のため、津波漂流物対策施設を整備し、漁業活動の早期再開に資する。

#### 基本事項

計画事業費:30.0億円  
事業期間:H24~R3

#### 主要な対策①: 衛生管理対策



野天での作業状況(異物混入の懸念)

屋根付き岸壁の整備

#### 主要な対策②: 越波・静穏度対策



越波により、安全な係留が困難

漁船への被害も発生